

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	群馬県立女子大学
設置者名	群馬県公立大学法人

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
文学部	国文学科	夜・通信	80			80	13	
	英米文化学科	夜・通信				80		
	美学美術史学科	夜・通信			24	104		
	総合教養学科	夜・通信			9	89		
国際コミュニケーション学部		夜・通信			8	88		
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学ホームページに掲載 https://www.gpwu.ac.jp/stu/life/syl/
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	群馬県立女子大学
設置者名	群馬県公立大学法人

1. 理事（役員）名簿の公表方法

法人ホームページ (https://www.gpwu.ac.jp/cat/post_235/index.html) に掲載

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	群馬県職員	2年	財務担当、設置自治体との調整
非常勤	商工団体代表	2年	地域連携等
(備考)			

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

履修要項>学修の評価>GPA制度

GPA (Grade Point Average) とは、授業科目ごとの成績を5段階で評価し、各成績評価に対してそれぞれグレード・ポイント (以下「GP」という。) を定め、1単位あたりの成績の平均値を示すものであり、以下の算出方法とする。なお、本学で使用するGPAは、学期GPA、通算GPA、通算修得GPAの3種類とする。

ア GPAの種類

①学期GPA (それぞれの学期ごとのGPA) ㊦

$$\text{学期GPA} = \frac{\text{(当該学期に履修登録したGPA対象科目のGP} \times \text{その科目の単位数)の和}}{\text{当該学期に履修登録したGPA対象科目の単位数の和}} \text{ ㊦}$$

※GP=0の科目(不可、欠となった科目)も計算に含める。㊦

②通算GPA (その学期までに履修登録した科目を対象としたGPA) ㊦

$$\text{通算GPA} = \frac{\text{(当該学期までに履修登録したGPA対象科目のGP} \times \text{その科目の単位数)の和}}{\text{当該学期までに履修登録したGPA対象科目の単位数の和}} \text{ ㊦}$$

※GP=0の科目(不可、欠となった科目)もその都度計算に含める。㊦

③通算修得GPA (その学期までに修得した科目のみを対象として計算したGPA) ㊦

$$\text{通算修得GPA} = \frac{\text{(当該学期までに修得したGPA対象科目のGP} \times \text{その科目の単位数)の和}}{\text{当該学期までに修得したGPA対象科目の単位数の和}} \text{ ㊦}$$

※GP=0の科目(不可、欠となった科目)は計算に含まれない。不可や欠だったが、再履修して合格となった科目は、合格した時点のものを計算対象とする。㊦

※各GPAはいずれも小数点以下第2位(第3位を四捨五入)で表示する。㊦

客観的な指標の算出方法の公表方法	<ul style="list-style-type: none"> 履修要項の学生への配付及び附属図書館での閲覧 大学ホームページへの掲載 <p>(https://www.gpwu.ac.jp/stu/life/cat/post_264/index.html)</p>
------------------	---

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

群馬県立女子大学 卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

https://www.gpwu.ac.jp/guide/idea/cat336/post_226/index.html

卒業の認定に関する方針の公表方法	大学ホームページに掲載 (上記アドレス参照)
------------------	------------------------

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	群馬県立女子大学
設置者名	群馬県公立大学法人

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	群馬県による財務諸表の承認後、法人ホームページ (https://www.gpwu.ac.jp/cat/post_235/index.html) に掲載予定
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告(書)	

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:群馬県公立大学法人平成31年度計画 対象年度:平成31年度)
公表方法: 法人ホームページ(https://www.gpwu.ac.jp/cat/post_235/index.html)に掲載
中長期計画(名称:群馬県公立大学法人第一期中期計画 対象年度:平成30~令和6年度)
公表方法: 法人ホームページ(https://www.gpwu.ac.jp/cat/post_235/index.html)に掲載

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 大学ホームページ(https://www.gpwu.ac.jp/inf/kyoikujoho/cat1/)に掲載

(2) 認証評価の結果

公表方法: 大学ホームページ(https://www.gpwu.ac.jp/inf/kyoikujoho/cat2/)に掲載

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名
教育研究上の目的（公表方法：大学ホームページに掲載） （概要） 大学の目的・沿革 https://www.gpwu.ac.jp/guide/idea/
卒業の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページに掲載） （概要） 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー） https://www.gpwu.ac.jp/guide/idea/cat336/post_226/index.html
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページに掲載） （概要） 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー） https://www.gpwu.ac.jp/guide/idea/cat337/post_227/index.html
入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページに掲載） （概要） 入学者受入れの方針(アドミッションポリシー) https://www.gpwu.ac.jp/exam/dep/adm-pol/

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学ホームページ (https://www.gpwu.ac.jp/guide/summary/) に掲載

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）								
学部等名	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計	設置基準上の 必要専任教員数
—	1人	—					1人	—
文学部	—	19人	14人	6人	—	—	39人	21人
国際コミュニケーション学部	—	10人	3人	3人	—	—	16人	10人
設置研究所	—	1人	1人	—	—	—	2人	—
b. 教員数（兼務者）								
学長・副学長			学長・副学長以外の教員			計		
—			117人			117人		
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： 本学ホームページ (https://www.gpwu.ac.jp/guide/info/) に掲載						
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）								
○FD・SD専門委員会：2回開催 （検討内容） FDプログラムの立案、実施等（教員間授業参観、講演会）								
○教員間授業参観（H30.7.16～7.21実施） 計26授業を、全体で延べ27人（実19人）が参観。								
○FD・SD研修会 2/13 「女子大学におけるトランスジェンダー学生をめぐる現状と課題について —セブンシスターズのアドミッションポリシーを通して考える—」								

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
文学部	140人	157人	112.1%	560人	718人	128.2%	15人	7人
国際コミュニケーション学部	60人	74人	123.3%	240人	288人	120.0%	6人	1人
合計	200人	231人	115.5%	800人	1,006人	125.75%	21人	8人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
文学部	157人 (100%)	15人 (9.6%)	132人 (84.1%)	10人 (6.4%)
国際コミュニケーション学部	68人 (100%)	3人 (4.4%)	63人 (92.6%)	2人 (2.9%)
合計	225人 (100%)	18人 (8.0%)	195人 (86.7%)	12人 (5.3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
大学ホームページを参照 <文学部> 国文学科 (https://www.gpwu.ac.jp/dep/lit/nat/post-20.html) 英米文化学科 (https://www.gpwu.ac.jp/dep/lit/eng/post-14.html) 美学美術史学科 (https://www.gpwu.ac.jp/dep/lit/art/post-35.html) 総合教養学科 (https://www.gpwu.ac.jp/dep/lit/liberal_a/post-13.html) <国際コミュニケーション学部> 英語コミュニケーション課程 (https://www.gpwu.ac.jp/dep/int/eng/post-13.html) 国際ビジネス課程 (https://www.gpwu.ac.jp/dep/int/bus/post-12.html)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
文学部	168人 (100%)	136人 (81.0%)	22人 (13.1%)	10人 (6.0%)	人 (%)
国際コミュニケーション学部	70人 (100%)	63人 (90.0%)	4人 (5.7%)	3人 (4.3%)	人 (%)
合計	238人 (100%)	199人 (83.6%)	26人 (10.9%)	13人 (5.5%)	人 (%)
(備考) 留学による留年者 文学部 2、国際コミュニケーション学部 3名 ボランティア活動による留年者 国際コミュニケーション学部 1名					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要) ※再掲</p> <p>【授業計画書(シラバス)の作成過程(2019年度版)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「履修要項」・「時間割」及び「シラバス」の原稿作成についてを7月教授会で報告した。 ・「シラバス作成について」を学部長名、研究課長名で対象教員に提示し作成を依頼した。 <p>【授業計画書の作成・公表時期(2019年度版)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月上旬：教員あてWEB登録(作成)依頼 ・1月：登録期限 ・3月末：公表
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) ・履修要項＞学修の評価＞学業成績の評価・単位修得の認定 https://www.gpwu.ac.jp/guide/summary/certification/ により適正な成績評価を行っている。 ・「履修要項」及び大学ホームページ (https://www.gpwu.ac.jp/stu/life/cat/post_264/index.html) によりGPAの算出方法を公表し、成績通知書等に記載している。 ・学部ごとに「ディプロマポリシー」を策定・運用し、卒業要件である修得単位数、在籍期間を確認の上、卒業を認定している。				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
文学部		124 単位	有 無	各学期 24 単位
		単位	有・無	単位
国際コミュニケーション学部		124 単位	有 無	各学期 24 単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：大学ホームページに掲載 附属図書館・施設の状況 (https://www.gpwu.ac.jp/guide/summary/) キャンパスマップ (https://www.gpwu.ac.jp/guide/campusmap/)

⑧授業料、入学料その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
文学部	国文学科	535,800 円	群馬県外者 282,000 円 群馬県内者 141,000 円	—	
	英米文化学科				
	美学美術学科				
	総合教養学科				
国際コミュニケーション学部					

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 少人数制の大学ならではの特長を生かし、学生委員会、事務局学生係及び各学科・課程・専攻の教員が相互に連携し、学生一人ひとりの状況に応じたケアを行っている。各学科・課程には、学生支援スタッフの教員を置き、修学面での支援を行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) キャリア科目やガイダンス、個人面談、講座等、一人ひとりの個性や意向を重視した各種の取組を「キャリア支援プログラム」として、キャリア支援センターが中心となって実施している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 健康相談・助言の体制として、保健室と相談室を設置している。保健室には、保健師が常駐し、健康相談をはじめ各種の相談に応じるほか、校医（精神神経科）による相談も実施している。相談室では、定期的に相談員（臨床心理士）への相談が可能となっている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：法人ホームページ (https://www.gpwu.ac.jp/cat/post_235/index.html) に掲載予定
